

令和 6年度予算見積調書

課室名: 生産振興課
 担当名: 花き・果樹・特産・水産担当
 内線: 4382 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P77	茶業研究所試験研究費			一般会計	農林水産業費	蚕糸特産及び	蚕糸特産研究費	茶業研究所費	
事業期間	昭和22年度～	根拠法令	なし			針路	12 儲かる農林業の推進	SDGsゴール 2, 17	
						分野施策	1202 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsターゲット	
1 事業概要			5 事業説明						
埼玉農業の競争力を強化するため、栽培管理技術の開発や、新品種の育成などの試験研究を実施する。 ア 環境変化に対応した技術の開発 2,221千円 イ 埼玉ブランドとなる品種の育成と普及 4,917千円 ウ 省力、低コスト、高品質生産技術の開発 938千円 エ 地域の特性を生かした技術開発と指導 5,561千円			(1) 事業内容 ア 環境変化に対応した技術の開発 2,221千円 イ 埼玉ブランドとなる品種の育成・普及 4,917千円 ウ 省力、低コスト、高品質生産技術の開発 938千円 エ 地域の特性を生かした技術開発と指導 5,561千円 (2) 事業計画(目標、達成水準、今後の計画等) ア 環境変化に対応した技術の開発 2課題(うち新規0) イ 埼玉ブランドとなる品種の育成・普及 2課題(うち新規0) ウ 省力、低コスト、高品質生産技術の開発 2課題(うち新規1) エ 地域の特性を生かした技術開発と指導 5課題(うち新規1) (3) 事業効果 本県ブランド「狭山茶」に係る戦略的な試験研究が遂行され、多様化するニーズに対応した生産技術が茶業者並びに産地に提供され、本県茶産業が発展する。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 独立行政法人等(農研機構等)、都道府県、大学、民間企業や農業者と共同して国庫資金等を活用して研究開発を実施する。また、農業関係団体、民間企業や農業者から委託を受け、問題解決のための試験研究を行う。 (5) その他 【予算項目別対応研究所】茶業研究所 【活動指標(アウトプット)】・気象条件に対応した栽培技術確立(2技術)・新品種育成及び栽培・加工技術確立(1品種、2技術)・各種データの収集・解析(25か所、気象・土壌データ3種) ・茶園モニタリング情報及び新規農薬等情報提供(モニタリング年2回、農薬等10件) 【成果指標(アウトカム)】・気象条件に対応した栽培技術の導入(5ha)・優良品種(新品種含む)への改植 ・肥培管理技術の導入(1ha)・農薬の適用拡大(10種類)						
2 事業主体及び負担区分(県10/10)									
3 地方財政措置の状況			なし						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員人件費			9,500千円×13人=123,500千円						
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	13,637	財産収入	3,260	諸収入	6,900			3,477	△753
前年額	14,390		4,060		5,900			4,430	

事業内訳書

事業名	茶業研究所試験研究費		
単位事業名	環境変化に対応した技術の開発	予算額	2,221千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 生産物売払収入	510	200	茶・苗木販売 510千円
諸収入・ 蚕糸特産及び水産業受託事業収入	200	0	試験研究受託事業収入 (国研) 果樹茶業研究部門から
一般財源	1,511	△369	
合計	2,221	△169	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	52	△2	200円×10人日 2,480円×4人日 5千円×8人日
需用費	2,117	△167	消耗品費 1,050千円 燃料費 327千円 光熱水費 232千円 修繕料 508千円

単位事業名	環境変化に対応した技術の開発	予算額	2,221千円
-------	----------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	52	0	手数料 52千円
合計	2,221	△169	

単位事業名	埼玉ブランドとなる品種の育成と普及	予算額	4,917千円
-------	-------------------	-----	---------

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 生産物売払収入	2,340	△800	茶・苗木販売 2,340千円
諸収入・ 蚕糸特産及び水産業受託事業収入	1,900	1,000	試験研究受託事業収入 (国研)果樹茶業研究部門から
一般財源	677	△444	
合計	4,917	△244	

単位事業名	埼玉ブランドとなる品種の育成と普及	予算額	4,917千円
-------	-------------------	-----	---------

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	294	45	200円×10人日 2,480円×5人日 33千円×5人日 114千円×1人日
需用費	3,420	△353	消耗品費 1,768千円 燃料費 443千円 光熱水費 628千円 修繕料 581千円
役務費	203	0	通信運搬費 42千円 手数料 161千円
備品購入費	1,000	64	紫外可視分光光度計 1,000千円
合計	4,917	△244	

単位事業名	省力、低コスト、高品質生産技術開発	予算額	938千円
-------	-------------------	-----	-------

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 生産物売払収入	200	0	茶・苗木販売 200千円
一般財源	738	△29	
合計	938	△29	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	45	0	200円×10人日 2,480円×2人日 5千円×1人日 33千円×1人日
需用費	815	△29	消耗品費 412千円 燃料費 94千円 光熱水費 68千円 修繕料 241千円
役務費	78	0	手数料 78千円

単位事業名	省力、低コスト、高品質生産技術開発	予算額	938千円
-------	-------------------	-----	-------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	938	△29	

単位事業名	地域の特性を生かした技術開発と指導	予算額	5,561千円
-------	-------------------	-----	---------

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 生産物売払収入	210	△200	茶・苗木販売 210千円
諸収入・ 蚕糸特産及び水産業受託事業収入	4,800	0	試験研究受託事業収入 (一社) 日本植物防疫協会、ほか2団体から
一般財源	551	△111	
合計	5,561	△311	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	328	△171	200円×102人日 2,480円×21人日 5千円×6人日

単位事業名	地域の特性を生かした技術開発と指導	予算額	5,561千円
-------	-------------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
			2,300円×4人日 17千円×3人日 33千円×5人日
需用費	4,882	△140	消耗品費 2,639千円 燃料費 1,049千円 光熱水費 324千円 修繕料 870千円
役務費	351	0	通信運搬費 66千円 手数料 285千円
合計	5,561	△311	